

《ルクセンブルク中央銀行(BCL)2012年第2回マクロ経済報告》

1. インフレ

インフレ率（対前年上昇率）は、2009年に0.4%、2010年に2.3%、2011年には3.4%と推移。最新のデータによると2012年4月のインフレ率は2.7%。

2. 雇用・失業

(1) 2012年1月における国内の被雇用者増加率は2.7%。4月推計値は1.9%に後退しており、雇用成長の減退が見られる。内訳を見ると、国内居住者よりも越境労働者の増加率が高い。派遣労働者数については、2012年1～2月期に減少が見られる。派遣労働者が減少している現在の状況は雇用市場の悪化を示していると思われる。2011年第4四半期は前年同期に比べ10634件の雇用が増加した。

(2) 2012年4月の季節調整済失業率は6.1%。失業手当の対象外の失業者（失業手当受給期限切れの場合や就職を希望する専業主婦、新卒生、新規移住者）が増えている。

3. 工業

2012年3月期の工業生産はリーマンショック前の2008年7月期よりも15%低い。最新の四半期調査結果によると、新規注文数が大幅に減少している。

4. 建設

2010年は停滞し、2011年はやや好調、2012年第1四半期は後退。住宅セクターに関しては、2011年の建築許可数は17.5%増加（4771件）。最新の景気動向調査結果は景気後退の兆候を示しているが、2011年の住宅建築許可数の大幅増加を受け、しばらくは住宅セクターは堅調が維持される見込み。

5. 金融

2012年3月末時点の当国銀行従業員数は26,543名で、2011年12月末よりも153名減少している。ある銀行が従業員88名をグループ会社に移籍させたことが主な要因である。一方、当国所在銀行数は、2011年12月末の142行だったのが2012年5月末には144行に増えている。

6. 経済成長率

2012年4月に発表された国民経済計算予測によれば2011年のGDP成長率は1.6%と推計されており、2012年は0.7-1.3%、2013年は1.4-3.4%と予測されている。

(詳細はルクセンブルク中央銀行 HP(www.bcl.lu)内 Bulletin 2012/2 をご参照ください。)